



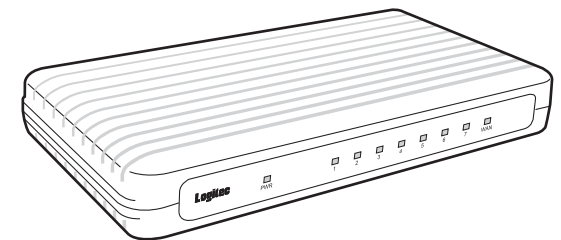
Broadband Router

ギガビット対応 8ポート有線LANルータ

LAN-BR/G8

User's Manual

このマニュアルは、別冊の「かんたんセットアップガイド」とあわせてお読みください。





●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	有線ブロードバンドルータ「LAN-BR/G8」を「本製品」と表記しています。
有線クライアント	有線LAN機能または有線LANアダプタを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
 注意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、ロジテック株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での(海外からの)保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

ギガビット対応8ポート有線LANルータ

LAN-BR/G8

User's Manual

ユーザーズマニュアル



はじめに

この度は、ロジテックのギガビット対応8ポート有線LANルータをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みにになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。


このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。


安全にお使いいただくために


けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。


 警告	<p>この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。</p>
 注意	<p>この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。</p>

警告

- 


本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。
- 

本製品から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
- 


本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
- 

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注意

- 

本製品を次のようなところで使用しないでください。

 - ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
 - ・直射日光のあたるところ
 - ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
 - ・静電気の発生するところ、火気の周辺
- 

長期間本製品を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
故障の原因になります。

もくじ

安全にお使いいただくために 4

Chapter 1 概要編 7

1 製品の保証について	8
2 サポートサービスについて	9
3 本製品の概要について	10
本製品の特長	10
本製品の動作環境	11
4 各部の名称とはたらき	12
5 設定ユーティリティについて	14
6 セットアップを始める前に	15
接続事業者との契約状況を確認する	15
インターネットの回線種別について	16

Chapter 2 導入編 17

1 本製品を接続する	18
本製品を接続する	18
2 インターネットに接続する	21

Chapter 3 詳細設定編 25

1 設定ユーティリティ画面について	26
設定ユーティリティ画面を表示する	26
設定ユーティリティ画面の内容	27
2 インターネット接続ウィザード	28
3 有線設定	29
LAN側設定画面	29
固定DHCP設定画面	30
WAN側設定画面	32
4 ファイアウォール設定	37
ポートフィルタ画面	37
IPアドレスフィルタ画面	39
MACアドレスフィルタ画面	41
ポートフォワーディング画面	43
URLフィルタ画面	45
IPv6ブリッジ画面	47
DMZ画面	48
5 QoS	49
QoS画面	49
6 管理ツール	52
機器のステータス画面	52
統計画面	53
DDNS設定画面	54

ログ画面	55
ファームウェア更新画面	56
設定保存/読み込み画面	57
パスワード設定画面	59

Appendix 付録編 61

1 こんなときは	62
2 パソコンのIPアドレスの確認方法	63
パソコンのIPアドレスを表示する	63
3 製品仕様/おもな初期値	65

Chapter 1

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎた修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

P9「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ 6409.jp (<http://>は必要ありません)

ロジテック・テクニカルサポート(ナビダイヤル)

TEL : 0570-050-060

受付時間：月曜日～土曜日 10:00～19:00

(祝日営業)※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行っておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- 弊社製品の型番
 - インターネットに関するプロバイダ契約の書類
 - ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)
- ※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3 本製品の概要について

本製品の特長

●ご家庭のネットワーク機器をまとめて接続！8ポート搭載のギガビット対応ルータ

ギガビット通信に対応した7ポートのLAN側コネクタ及び、1ポートのWANコネクタを搭載しています。WAN/LANポートが、従来の10BASE-T/100BASE-TXから超高速のギガに対応することにより、超高速インターネットサービスに最適です。

また、ゲーム機・ネットワーク対応テレビ/レコーダなど、パソコン以外のネットワーク対応機器が増え、LANのポート数が足りない状況でも、余裕で機器類の接続ができます。

●光インターネット環境でも満足いただける「PPPoEスループット：223.2Mbps」を実現

PPPoEスループット：223.2Mbps、FTPスループット：236.3Mbpsと、光インターネットでも満足いただける高速性能を誇ります。(スループットは弊社調べ)

●背面のマグネットで、スチール面に固定可能。さらに内蔵電源採用ですっきり設置！

コンパクトな横置きタイプです。本体の底面にはマグネットを装備し、スチール面にしっかりと固定できます。

また、ACアダプタではなく電源内蔵タイプなので、コンセント周りがスッキリします。

●省電力機能「ロジエコ」を搭載し、節電対策も万全

接続していないポート、リンクしていないポートを自動的に判別し、電力供給量を抑えるほか、接続機器までのLANケーブルの長さによって電力供給量を調節する省電力タイプの有線ルータです。使用者が意識することなく、簡単に節電を実践することができます。

●「セットアップウィザード」により、インターネット回線を自動判別

Webブラウザ版「セットアップウィザード」を使用すると、インターネット設定で初心者がつまづきやすい、インターネット回線の種別を自動的に判断し、自動的に次のステップへと作業が進みます。フレッツシリーズ、Yahoo!BB、CATVインターネットサービスなどの多くのサービスを自動的に判別できます。

●IPv6 Bridge 機能を搭載

さまざまなアプリケーションや音声映像を楽しめるIPv6 サービスを利用できるように、「IPv6 Bridge」機能を搭載しています。設定をオフにすることもできます。

●特定の通信の帯域幅を確保できる「QoS」機能に対応

全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能に対応しています。この機能を使うことで、ストリーミング映像を楽しんでいるときに、他のサービスに帯域を取られて、映像が止まるというような心配がなくなります。複数のサービスに個別に帯域幅を割り当てることができます。

●バーチャルサーバ機能を搭載

ポート転送(ポートフォワーディング機能)を搭載しており、本製品に接続したパソコンを「バーチャルサーバ」としてインターネット経由で安全に公開できます。PPPoE接続など、IPアドレスが動的に変化する環境でも、ダイナミックDNS(クリアネット)サーバへの接続機能を備えていますので、IPアドレスの変更なく運用が可能です。

●UPnPに対応

UPnP(Universal Plug and Play)に対応しています。Windows MessengerなどのUPnP対応ソフトが特別な設定をせずに利用可能なほか、UPnP対応ネットワーク機器との組み合わせで本製品を自動的に認識、設定できます。ネットワークゲームを安心して利用できるDMZ機能も備えています。

●その他多彩なルータ機能を装備

- ・「DHCPサーバ機能」を搭載し、パソコン側のIPアドレス設定などが不要
- ・「URLフィルタリング」「MACアドレスフィルタリング」などのフィルタリング機能を搭載
- ・簡易サーバの設置に便利な「DMZ」「DDNS」を搭載。DDNSは、ロジテックの無料DDNSサーバClear-Netを利用可能
- ・ファームウェアを簡単にバージョンアップ可能
- ・設定内容およびアクセスログの保存が可能

●EU RoHS指令に準拠

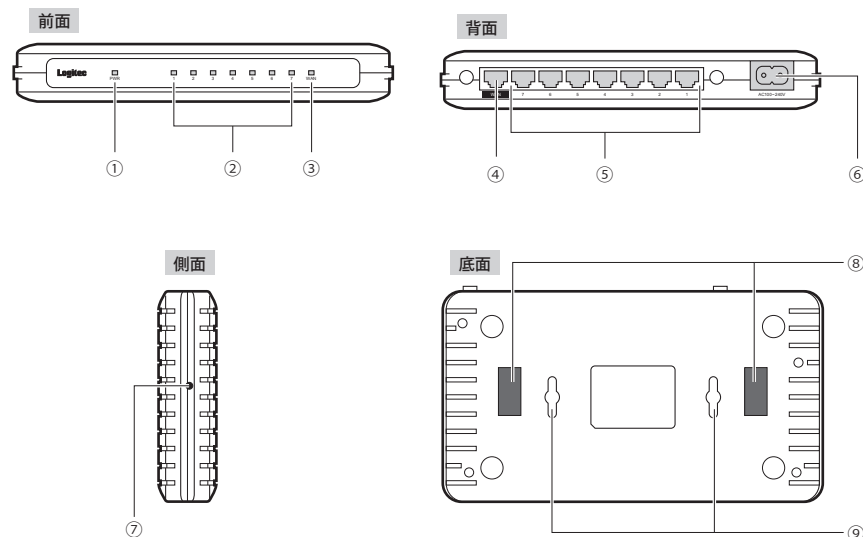
EUの「RoHS指令(電器・電子機器に対する特定有害物質の使用制限)」に準拠した環境にやさしい製品となっています。

本製品の動作環境

弊社では以下の環境のみサポートしています。

対応機種およびOS	Windows 7/Vista/XP/2000を搭載するWindowsマシン Mac OS X (10.6/10.5/10.4) をインストールしたIntel製CPUを搭載したMac
対応ブラウザ (Web設定ユーティリティ)	Internet Explorer 5.5以降

4 各部の名称とはたらき



①	PWR (パワー) ランプ (緑色)	点灯：本製品の電源が入った状態です。 消灯：本製品の電源が切れた状態です。
②	LAN ランプ1~7 (緑色)	点滅：パソコンやネットワーク機器とのリンクが確立し、データ転送中です。 消灯：未接続の状態です。
③	WAN ランプ (緑色)	点滅：WAN 側とのリンクが確立し、インターネットとの間でデータ転送中です。 消灯：未接続の状態です。
④	WAN ポート	ブロードバンドモデムなど WAN 側機器からのケーブルを接続します。
⑤	LAN ポート 1~7	パソコンやネットワーク機器を、有線 LAN で本製品に接続するためのポートです。
⑥	電源ジャック (AC100-240V)	本製品に付属の電源ケーブルを接続します。本製品に付属以外の電源ケーブルを接続しないようにしてください。
⑦	リセットボタン	5秒以上押し続けて離すと、約20秒後に、リンクが確立されている WAN および LAN ポートのランプが消灯し、設定値の初期化を開始します (工場出荷時の状態に戻ります)。
⑧	マグネット	スチール面にワンタッチで固定するためのマグネットです。
⑨	ねじ穴	本製品を壁面などに設置するためのねじ穴です。

●壁面などへのネジ止めで固定する場合

本製品は壁面などに設置できるように、底面に2か所のねじ穴を用意しています。固定には直径(呼び径)6~7mmのネジ2本が必要です。設置面の素材および構造をお確かめになり、十分な強度を確保したうえで、本製品を取り付けてください。また、本製品への電源供給のために設置場所近くにACコンセントが必要です。

5 設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Webブラウザから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティのメニュー項目の構成について説明します。各メニュー項目の詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

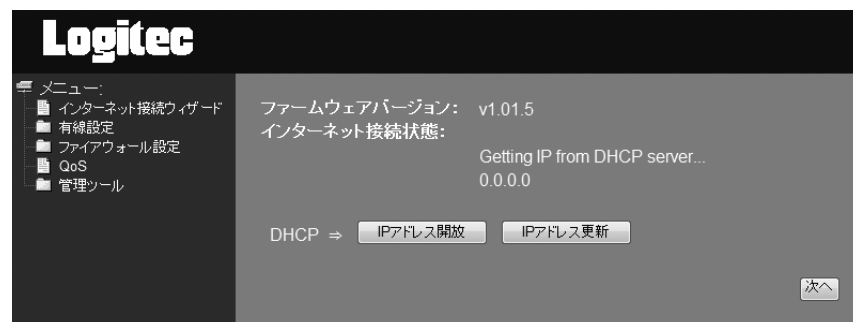


●設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをパソコンのWebブラウザで表示するには、本製品とパソコンを有線LANで接続する必要があります。

●設定ユーティリティの表示方法

P26「設定ユーティリティ画面を表示する」をお読みください。



メニュー項目	内容
インターネット接続ウィザード	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。(→P28)
有線設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN側設定(→P29)、WAN側設定(→P32)があります。
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。ポートフィルタ(→P37)、IPアドレスフィルタ(→P39)、MACアドレスフィルタ(→P41)、ポート転送(→P43)、URLブロック(→P45)、IPv6ブリッジ(→P47)、DMZ(→P48)があります。
QoS	全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能を設定できます(→P49)。
管理ツール	本製品を管理するためのメニューです。機器のステータス(→P52)、統計(→P53)、DDNS(→P54)、ログ(→P55)、ファームウェア更新(→P56)、設定保存/読込(→P57)、パスワード設定(→P59)があります。

6 セットアップを始める前に

本製品のセットアップ作業を始める前に、以下について確認します。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。

①回線事業者/プロバイダと契約は完了していますか？

回線事業者やプロバイダとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスの場合はNTTとのご契約とは別にプロバイダとの契約が必要です。

②モデムなどの機器は準備できていますか？

本製品でインターネットを楽しむためには、ADSL/CATV/光ファイバーなどのブロードバンドモデムと本製品を接続する必要があります。モデムを別途購入されるように契約している場合は、対応モデムをご用意いただく必要があります。

③回線工事は完了していますか？

回線事業者/プロバイダとの契約に加え、屋内までの配線工事とモデムの準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④パソコン側の必要な機器は準備できていますか？

本製品の設定には、有線LANで本製品に接続できるパソコンが必要です。パソコンの有線LANポートが正常に動作するかご確認ください。

本製品は、DHCPサーバ機能を搭載していますので、パソコンには自動的にローカルIPアドレスが割り当てられます。パソコン側の「TCP/IPプロトコル」の設定は、ルータ側からIPアドレスが自動的に割り当てられるように、初期値では「自動取得」になっています。「手動設定」に変更されている場合は、「自動取得」に設定を変更してください。

インターネットの回線種別について

本製品はインターネット自動判別機能により、以下の回線種別については、自動的に判別することができます。

- フレッツシリーズなど「PPPoE」接続（フレッツシリーズでも一部「PPPoE」接続でない場合があります）
- Yahoo!BB、一般的なCATVインターネットサービス
- 各種固定IPサービス

※ただし、ご使用の環境によっては、自動判別できないことがあります。この場合は、手動で回線種別を選択することになります。

●フレッツシリーズ、固定IPサービスをご利用の場合

NTT東日本、NTT西日本のフレッツシリーズをご利用の場合は、プロバイダより提供されたユーザーIDとパスワードの入力が必要な場合があります。あらかじめ必要書類をご用意のうえ、ユーザーIDとパスワードの有無をご確認ください。

固定IPサービスをご利用の場合は、プロバイダより提供されたIPアドレスの入力が必要になります。あらかじめ必要書類をお手元にご用意ください。

Chapter 2

導入編

本製品の導入方法について

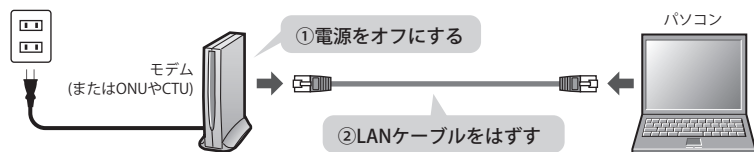
本製品をモデムなどにつなぐ手順や、インターネットに接続する手順については、本製品に添付の別紙「かんたんセットアップガイド」などに、わかりやすい説明があります。「かんたんセットアップガイド」の説明書が見つからない場合は、ロジテック ホームページからもダウンロードできます。

1 本製品を接続する

本製品をブロードバンドモデムなどと接続します。

本製品を接続する

1 すでにインターネットをご利用の場合は、以下の作業をします。



① すでにご使用のモデム、ONU (回線終端装置)、CTU (加入者網終端装置) のいずれかがある場合、パソコンと接続したLANケーブルをはずします。

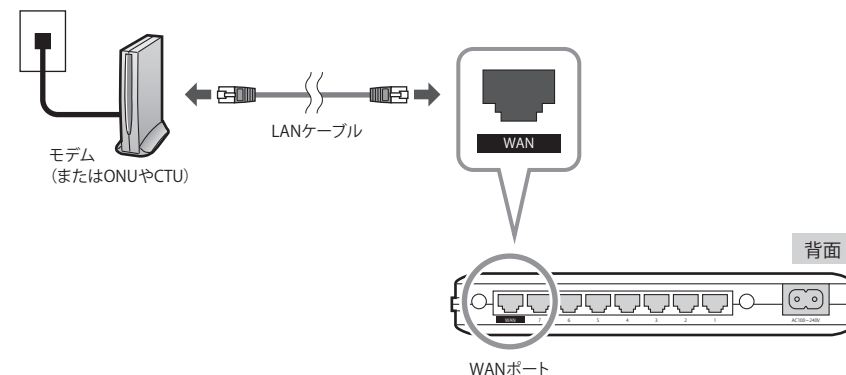
② モデム (またはONUやCTU) の電源を切り、LANケーブルを抜いた状態で、1時間以上そのまま置いておきます。
 ・モデム等に電源スイッチがない場合は、ACプラグを抜きます。



注意

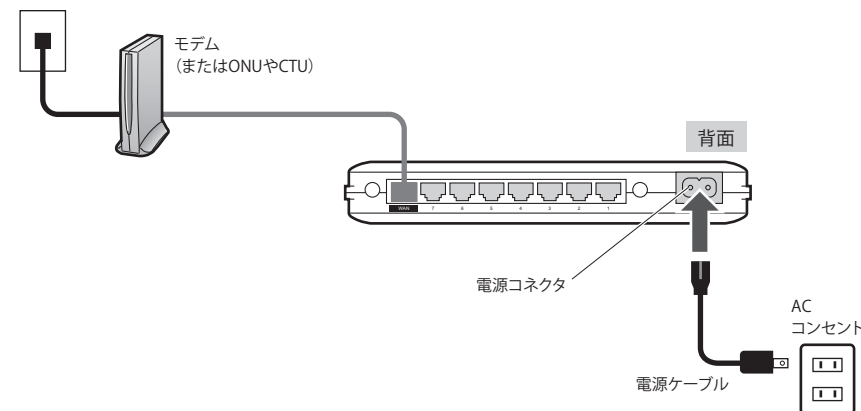
モデムの電源をいったん切らないと、現在記憶されている接続情報がそのまま残り、本製品を接続したあとの新しい接続情報に更新されず、インターネットへの接続に失敗する恐れがあります。

2 モデム (またはONUやCTU) のLANポートと本製品のWANポートを、付属のLANケーブルでつなぎます。

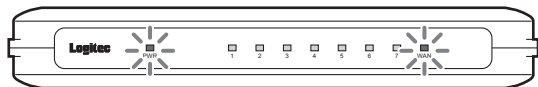


3 モデム (またはONUやCTU) の電源をオンにします。

4 付属の電源ケーブルを本製品と接続し、プラグをACコンセントに接続します。



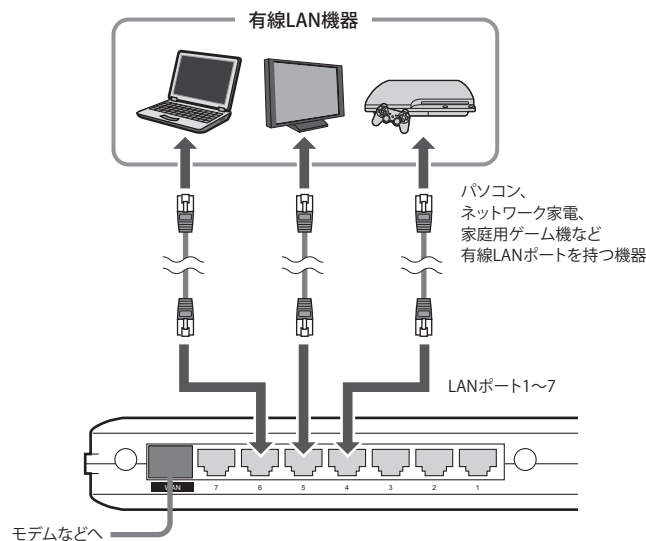
5 モデム(またはONUやCTU)と、本製品の電源がオンになっていることを確認します。



- 本製品の場合、PWR ランプ(緑色)と WAN ランプ(緑色)が点灯します。

※手順 4 のあと、ランプが点灯するまで40秒程度かかります。

6 本製品の LAN ポート (1~7のいずれか) と、インターネットへ接続したい機器の LAN ポートを、LAN ケーブルで接続します。



- ☑ 本製品には、LAN ケーブルは1本しか付属しません。不足分は別途ご用意ください。

7 P21 「2.インターネットに接続する」へ進みます。

2 インターネットに接続する

本製品と有線クライアントの接続が完了したら、インターネットに接続するための設定をします。

1 本製品の LAN ポートに接続したパソコンのうち、いずれかのパソコンを起動します。

2 Web ブラウザの [アドレス] 欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。



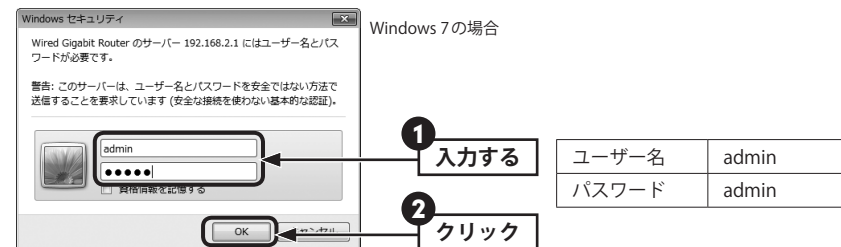
- 認証画面が表示されます。

☑ 認証画面が表示されない場合

以下の順序で確認してみてください。

- ① 本製品の電源が入っているか、LAN ケーブルの接続は正しいかを確認してください。
- ② いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて3分以上たってからパソコンの電源を入れてください。
- ③ 接続しているパソコンの IP アドレスを確認してください (→P63 「2.パソコンの IP アドレスの確認方法」)。

3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。



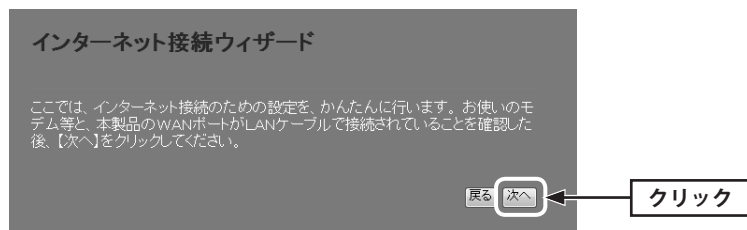
- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。

- ☑ 不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします (→P59 「パスワード設定画面」)。

4 次の画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



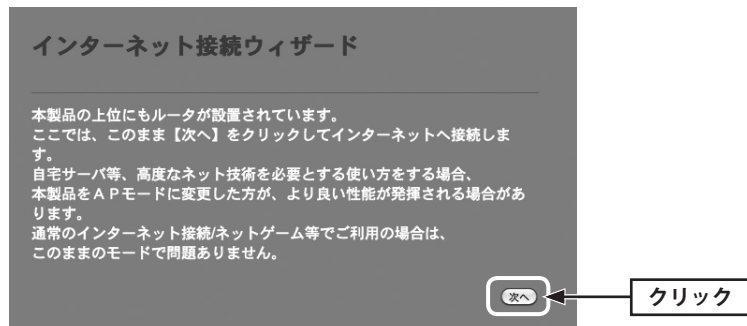
5 次へをクリックします。



- 「インターネット回線種別を自動識別中です。」と表示されます。

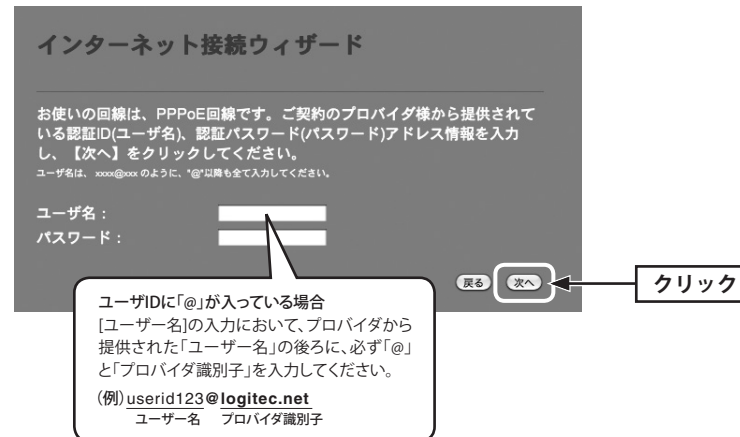
6 インターネット回線の種類にあわせて画面が表示されます。

■「本製品の上位にもルータが設置されています。」と表示された場合



- そのまま「次へ」をクリックします。

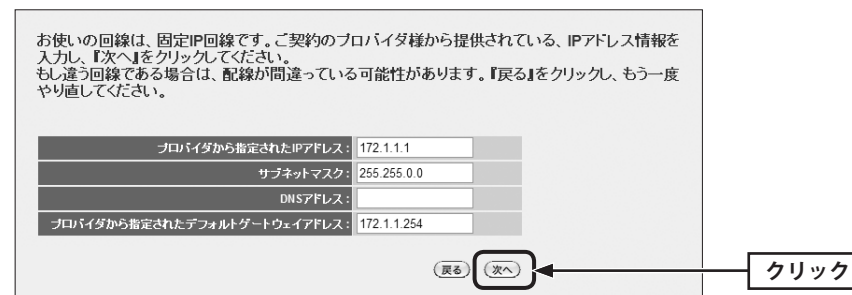
■ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示された場合



- プロバイダより提供された情報にある「ユーザーID」と「パスワード」を入力します。
- 「次へ」をクリックします。

※ご利用の環境によって、設定画面の内容は多少異なる場合があります。

■固定IPアドレスの情報を入力する画面が表示された場合




- プロバイダより提供された情報を入力します。
- 「次へ」をクリックします。

- 7** インターネットに正常に接続できると、接続が確認できたことを知らせるメッセージが表示されます。

インターネット接続が確認できました！
インターネット接続設定を終了します。
右上の×をクリックし、本画面を閉じてください。

- 8** お好みのホームページを開きます。



-  ページが表示されるまで1、2分間かかる場合があります。

- 9** ページが正しく表示されたら作業はすべて完了です。

Chapter 3

詳細設定編

1 設定ユーティリティ画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンからWebブラウザを使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定ユーティリティに接続する方法を説明します。

設定ユーティリティ画面を表示する

- 1 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。
- 2 Webブラウザの[アドレス]欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。



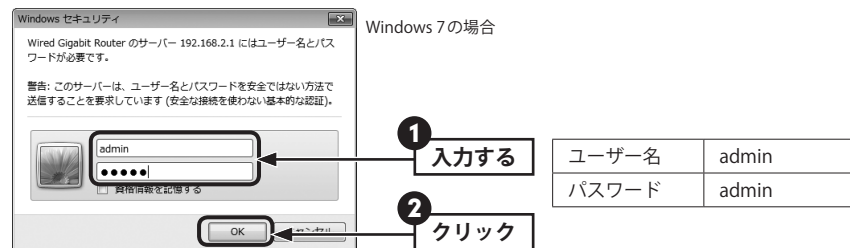
- 認証画面が表示されます。



認証画面が表示されない場合

パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IPアドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待ってから、パソコンの電源を入れてください。

- 3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。



- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。



不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします(→P59「パスワード設定画面」)。

設定ユーティリティ画面の内容



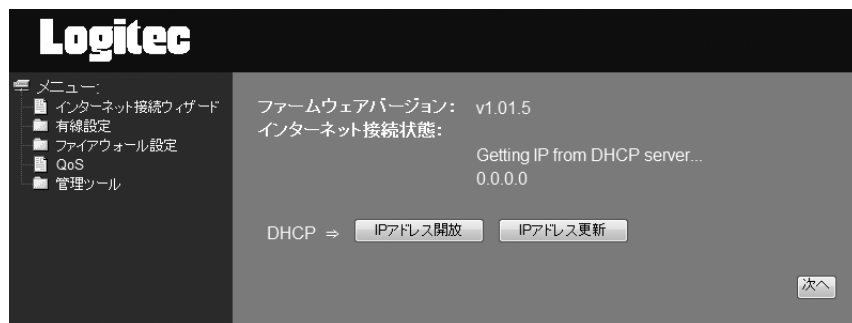
メニュー項目	内容
インターネット接続ウィザード	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。(→P28)
有線設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN側設定(→P29)、WAN側設定(→P32)があります。
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。ポートフィルタ(→P37)、IPアドレスフィルタ(→P39)、MACアドレスフィルタ(→P41)、ポート転送(→P43)、URLブロック(→P45)、IPv6ブリッジ(→P47)、DMZ(→P48)があります。
QoS	全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能を設定できます(→P49)。
管理ツール	本製品を管理するためのメニューです。機器のステータス(→P52)、統計(→P53)、DDNS(→P54)、ログ(→P55)、ファームウェア更新(→P56)、設定保存/読込(→P57)、パスワード設定(→P59)があります。

2 インターネット接続ウィザード

インターネットに接続するための必要な設定をおこなう画面です。インターネット接続ウィザードの使い方は、P21「2.インターネットに接続する」をお読みください。

画面の表示

画面左のメニューリストから[インターネット接続ウィザード]を選択します。



IPアドレス開放	WAN (インターネット) 側の接続を切断し、WAN 側の IP アドレスを開放します。インターネットとは接続していない状態になります。
IPアドレス更新	WAN (インターネット) 側の IP アドレスを正しく取得できなかった場合などに、現在の WAN 側の IP アドレスを開放し、再取得します。

3 有線設定

有線の LAN ポートおよび WAN ポートに関する設定をします。

LAN 側設定 画面

本製品の LAN (ローカルネットワーク) 側の IP アドレス情報等を設定します。

画面の表示

画面左のメニューリストから[有線設定]→[LAN 側設定]を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

装置の IP アドレス	本製品の LAN 側の IP アドレスです。 初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。 初期値は「255.255.255.0」です。
DHCP クライアントレンジ	DHCP サーバ機能を利用する場合、DHCP サーバがクライアントに自動的に割り付ける IP アドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントに IP アドレスが自動的に割り当てられます。 クライアントの表示 をクリックすると、接続中の DHCP クライアントのリストが別ウィンドウで表示されます。
固定 DHCP	固定 DHCP 設定 をクリックすることで、クライアントの MAC アドレスと指定したい IP アドレスを関連付けて登録することができます。設定方法については P30「固定 DHCP 設定 画面」をお読みください。

固定DHCP設定画面

DHCPサーバ機能を有効にしている場合、クライアントには自動的にIPアドレスが割り当てられます。しかし、クライアントのネットワーク機器によっては、特定のIPアドレスを割り当てたい場合があります。クライアントのMACアドレスと指定したいIPアドレスを関連付けて登録することができます。

画面の表示

画面左のメニューリストから[有線設定]→[LAN側設定]を選択し、[固定DHCP設定]をクリックします。

固定DHCP設定

固定DHCPを有効にする

IPアドレス:

MACアドレス:

メモ:

固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	メモ	選択



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

固定DHCPを有効にする	この項目をチェックしている場合に、固定DHCPリストの内容が有効になります。チェックしていない場合は、リストに登録されていてもIPアドレスは固定されません。
IPアドレス	クライアントに割り当てるIPアドレスを入力します。
MACアドレス	IPアドレスを固定するクライアントのMACアドレスを入力します。
メモ	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●固定DHCPリスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

追加	リストに新たにIPアドレスを固定するクライアントを追加します。
選択したものを削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 <input type="button" value="OK"/> をクリックします。
全て削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 <input type="button" value="OK"/> をクリックします。
キャンセル	[選択]のチェックをすべてクリアします。

固定DHCPの設定方法

固定DHCP設定

固定DHCPを有効にする

IPアドレス:

MACアドレス:

メモ:

固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	メモ	選択
192.168.2.131	123456789012	sales-team01	

- 1 [固定DHCPを有効にする]をチェックします。
- 2 クライアントに割り当てたいIPアドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
- 3 クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 123456789012
- 4 必要に応じて[メモ]に、コメントを入力します。
- 5 をクリックすると「設定変更を反映します。」と表示されます。
- 6 登録するクライアントを追加する場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従って操作します。

WAN側設定画面

本製品のWAN（インターネット）側の設定をします。[WAN側回線種別]で、DHCP・PPPoE・固定IP・マルチPPPoEのいずれを選択するかで、設定画面が異なります。

画面の表示

画面左のメニューリストから[有線設定]→[WAN側設定]を選択します。

●「DHCP」を選択した場合 ※画面イメージは上記参照

ホスト名	必要に応じて自由にホスト名を入力できます。
MTU値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)の値(1400~1492)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値:1454)
DNSサーバの設定	<p>●DNSサーバのアドレスを自動的に取得する プロバイダより自動的にDNSサーバのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。</p> <p>●次のDNSサーバを使用する プロバイダからDNSアドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNSが1個の場合は「DNS1」に、2個の場合は「DNS1」「DNS2」にそれぞれアドレスを入力します。</p>
MACアドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使用します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●「PPPoE」を選択した場合

ユーザ名	<p>プロバイダより提供されたユーザ名を入力します。ユーザIDに「@」がある場合、ユーザ名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。</p> <p>(例) <code>userID123@logitec.ent</code> ユーザ名 プロバイダ識別子</p>
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
サービス名	必要に応じて自由にプロバイダ名などの名称を入力できます。
MTU値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)の値(1360~1492)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値:1454)
DNSサーバ設定	<p>●DNSサーバのアドレスを自動的に取得する プロバイダより自動的にDNSサーバのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。</p> <p>●次のDNSサーバを使用する プロバイダからDNSアドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNSが1個の場合は「DNS1」に、2個の場合は「DNS1」「DNS2」にそれぞれアドレスを入力します。</p>
MACアドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使用します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●「固定IP」を選択した場合

IPアドレス	プロバイダから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)の値(1400~1500)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)
DNS1	プロバイダからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS2	プロバイダからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。
MACアドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使用します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●マルチPPPoEを選択した場合

ユーザ名	プロバイダより提供されたユーザ名を入力します。 ユーザIDに「@」がある場合、ユーザ名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 (例) <code>userID123@logitech.ent</code> ユーザ名 プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
サービス名	必要に応じて自由にプロバイダ名などの名称を入力できます。
MTU値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)の値(1360~1492)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)
DNSサーバ設定	<p>●DNSサーバのアドレスを自動的に取得する プロバイダより自動的にDNSサーバのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。</p> <p>●次のDNSサーバを使用する プロバイダからDNSアドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNSが1個の場合は「DNS1」に、2個の場合は「DNS1」「DNS2」にそれぞれアドレスを入力します。</p>

MACアドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使います。
PPPoE2：NTT フレッツサービス用 下記の注記参照	
ユーザ名	プロバイダより提供されたユーザ名を入力します。 ユーザIDに「@」がある場合、ユーザ名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 (例) <u>userID123</u> @ <u>logitec.ent</u> ユーザ名 プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
サービス名	必要に応じて自由にプロバイダ名などの名称を入力できます。
MTU値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) の値 (1360~1492) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値：1454)

※フレッツ・スクウェアのマルチセッションには対応していません。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

4

ファイアウォール設定

ポートフィルタ 画面

本製品に接続するクライアントがインターネットにアクセスする場合に使用するポートを制限できます。ここで登録したポートを使うインターネットサービスは利用できなくなります。



画面左のメニューリストから [ファイアウォール設定] → [ポートフィルタ] を選択します。

ポートフィルタ

ポートフィルタを有効にする

ポートレンジ: - プロトコル: Both メモ:

現在のポートフィルタテーブル:

ポートレンジ	プロトコル	メモ	選択



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。

●入力・設定画面の内容

ポートフィルタを有効にする	ポートフィルタ機能を使用する場合はチェックします。
ポートレンジ	接続を制限するポート番号の範囲を指定します。1ポートだけの場合は、左側の入力枠にポート番号を入力します。
プロトコル	フィルタの対象とするプロトコルを選択します。(初期値：Both [両方])
メモ	自由にコメントを入力できます。登録したサービスの説明などに便利です。

●現在のポートフィルタテーブル

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	[選択]をチェックしたポート番号の範囲をリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 [OK] をクリックします。
全て削除	リストのポート番号の範囲の設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 [OK] をクリックします。
キャンセル	[選択]のチェックをすべてクリアします。

ポートフィルタの設定方法

- ① [ポートフィルタを有効にする]をチェックします。
- ② [ポートレンジ]に対象となるサービスのポート番号の範囲を入力します。
- ③ [プロトコル]でプロトコルのタイプを選択します。
- ④ 必要に応じて[メモ]に、コメントを入力します。
- ⑤ **[適用]**をクリックします。
- ⑥ 登録するサービス(ポート番号)が複数ある場合は、①～⑤を繰り返します。

IPアドレスフィルタ 画面

本製品に接続するクライアントのうち、登録したIPアドレスを持つクライアントについて、インターネットへの接続を制限します。



注意

この機能を利用する場合で本製品のDHCPサーバ機能を有効にしているときは、P30の【固定DHCP設定画面】で、IPアドレスフィルタリングの対象となるクライアントのIPアドレスを固定するようにしてください。DHCPサーバ機能により動的にIPアドレスが変更されると、正しくフィルタリングすることができません。



画面の表示

画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[IPアドレスフィルタ]を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず**[適用]**をクリックして設定を保存してください。

●入力・設定画面の内容

IPアドレスフィルタを有効にする	IPアドレスフィルタ機能を使用する場合はチェックします。
ローカルIPアドレス	インターネットへの接続を拒否するクライアントのIPアドレスを入力します。
プロトコル	フィルタの対象とするプロトコルを選択します。(初期値: Both [両方]) ※[Both]を選択した場合は、そのクライアントはインターネットへの接続ができなくなります。
メモ	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●現在のIPアドレスフィルタテーブル

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 [OK] をクリックします。
全て削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 [OK] をクリックします。
キャンセル	[選択]のチェックをすべてクリアします。

IPアドレスフィルタの設定方法

- 1 [IPアドレスフィルタを有効にする]をチェックします。
- 2 [ローカルIPアドレス]に対象となるクライアントのIPアドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
- 3 [プロトコル]でプロトコルのタイプを選択します。
- 4 必要に応じて[メモ]に、コメントを入力します。
- 5 **[適用]**をクリックします。
- 6 登録するクライアントが複数ある場合は、**①～⑤**を繰り返します。

MACアドレスフィルタ 画面

本製品に接続するクライアントのアクセスをコントロールします。ここに登録されたMACアドレスを持つクライアントは、本製品に接続することができなくなります。第三者の不正アクセスの防止などに役立ちます。

画面の表示

左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[MACアドレスフィルタ]を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず**[適用]**をクリックして設定を保存してください。

●入力・設定画面の内容

MACアドレスフィルタを有効にする	MACアドレスフィルタ機能を使用する場合はチェックします。
MACアドレス	本製品への接続を拒否するクライアントのMACアドレスを入力します。
メモ	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●現在の設定

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 [OK] をクリックします。
全て削除	リストのクライアントをすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 [OK] をクリックします。
キャンセル	[選択]のチェックをすべてクリアします。

クライアントの登録方法

- 1 [MACアドレスフィルタを有効にする]をチェックします。
- 2 クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 1234567890gh
- 3 必要に応じて[メモ]に、コメントを入力します。
- 4 **[適用]**をクリックします。
- 5 登録するクライアントが複数ある場合は、**①～④**を繰り返します。

ポートフォワーディング画面

ポート転送(ポートフォワーディング)機能を設定します。通常NAT変換を利用するルータでは、WAN(インターネット)側からLAN上のコンピュータにアクセスすることはできませんが、この機能を利用することで、LAN上にある指定されたコンピュータをWAN側に開放することができます。



注意

この機能を利用する場合で本製品のDHCPサーバ機能を有効にしているときは、P30の**[固定DHCP設定画面]**で、ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを固定するようにしてください。DHCPサーバ機能により動的にIPアドレスが変更されると、意図しないコンピュータがWAN側に開放される恐れがあります。



画面左のメニューリストから**[ファイアウォール設定]**→**[ポート転送]**を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず**[適用]**をクリックして設定を保存してください。

●入力・設定画面の内容

ポートフォワーディングを有効にする	ポートフォワーディング機能を使用する場合はチェックします。
IPアドレス	ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを入力します。
プロトコル	プロトコルを選択します。(初期値: Both [両方])
ポート範囲	インターネット側から見た送信先のポート番号の範囲を入力します。
メモ	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●現在のポートフィルタテーブル

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 [OK] をクリックします。
全て削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 [OK] をクリックします。
キャンセル	[選択]のチェックをすべてクリアします。

ポートフォワーディングの設定方法

- 1 [ポートフォワーディングを有効にする]をチェックします。
- 2 [IPアドレス]に対象となるクライアントのIPアドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
- 3 [プロトコル]でプロトコルのタイプを選択します。
- 4 [ポート範囲]に対象となるポート番号の範囲を入力します。
- 5 必要に応じて[メモ]に、コメントを入力します。
- 6 **[適用]**をクリックします。
- 7 登録するクライアントが複数ある場合は、**①～⑥**を繰り返します。

URLフィルタ画面

特定のWebサイトのURLを設定することで、ホームページの閲覧を拒否します。

画面の表示

画面左のメニューリストから**[ファイアウォール設定]**→**[URLブロック]**を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず**[適用]**をクリックして設定を保存してください。

●入力・設定画面の内容

URLフィルタリングを有効にする	URLフィルタを使用する場合はチェックします。
URLアドレス	接続を拒否するWebサイトのURLを入力します。

●現在のURLフィルタテーブル

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したURLの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	[選択]をチェックしたURLをリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 [OK] をクリックします。
全て削除	リストのURLの設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 [OK] をクリックします。
キャンセル	[選択]のチェックをすべてクリアします。

URLフィルタの設定方法

- ① [URLフィルタリングを有効にする]をチェックします。
- ② [URLアドレス]に対象となるWebサイトのURLを入力します。
- ③ [適用]をクリックします。
- ④ 登録するURLが複数ある場合は、①～③を繰り返します。

IPv6ブリッジ画面

プロバイダから提供されるIPv6サービスを利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能を有効にするか、無効にするかを選択します。



画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[IPv6ブリッジ]を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [戻る] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [更新] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

● IPv6ブリッジ

IPv6ブリッジ	プロバイダから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値：有効)。
----------	---

DMZ 画面

通常、NAT変換を利用するルータでは、WAN（インターネット）側からLAN上のパソコンにアクセスすることはできません。DMZ機能を使用すると、指定したコンピュータにWAN側からアクセスできるようになります。これにより、LAN上からは通常使用できない双方向通信を利用したサービスを利用できます。

画面の表示

画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[DMZ]を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

DMZを有効にする	DMZ機能を使用する場合はチェックします。
DMZホストIPアドレス	インターネット（外部）に公開するWAN側IPアドレスを選択します。「.」で区切る必要があります。 例 192.168.2.131

5 QoS

QoS 画面

QoS (Quality of Service) は特定の通信について、あらかじめ使用する帯域を予約しておくことで、その通信の速度を保証する機能です。例えばストリーミングのように一定の転送速度が確保されないと実用的でないようなサービスを利用するとき有効です。

画面の表示

画面左のメニューリストから[QoS]を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。

●入力・設定画面の内容

QoSを有効にする	QoS機能を使用する場合はチェックします。
アップロード速度を自動で設定する	アップロードで確保する全体の帯域幅を自動で設定する場合はチェックします。
アップロード速度を手動で設定する	[アップロード速度を自動で設定する]のチェックを外すことで、速度を手動で設定できます。
ダウンロード速度を自動で設定する	ダウンロードで確保する全体の帯域幅を自動で設定する場合はチェックします。
ダウンロード速度を手動で設定する	[ダウンロード速度を自動で設定する]のチェックを外すことで、速度を手動で設定できます。

●現在のQoSルールテーブル

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したルールの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	[選択]をチェックしたルールをリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 <input type="button" value="OK"/> をクリックします。
全て削除	リストのルールの設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 <input type="button" value="OK"/> をクリックします。
キャンセル	[選択]のチェックをすべてクリアします。

ルールの作成方法

- 1 [QoSを有効にする]をチェックします。
- 2 アップロードで確保する全体の帯域幅または、ダウンロードで確保する全体の帯域幅を設定します。自動設定、手動設定、いずれかの方法で設定できます。
- 3 [QoSルール設定]でルールの内容を設定します。項目の内容については、以下の一覧を参照してください。
- 4 設定が終われば、をクリックします。
- 5 必要に応じて[メモ]に、コメントを入力します。
- 6 をクリックします。
- 7 登録するルールが複数ある場合は、**1**～**6**を繰り返します。

アドレスタイプ	「IPアドレス」か、「MACアドレス」のいずれかを選択します。
ローカルIPアドレス	このルールを適用するクライアントのIPアドレス範囲を入力します。対象が1台の場合は、左右に同じIPアドレスを入力します。[アドレスタイプ]で「IP」を選択した場合のみ、入力可能です。
MACアドレス	このルールを適用するクライアントのMACアドレス範囲を入力します。[アドレスタイプ]で「MAC」を選択した場合のみ、入力可能です。
モード	最低保証帯域(ギャランティー)か、最大帯域制限(最大)のいずれかを選択します。
アップロード帯域幅(Kbps)	アップロードで確保する帯域幅を入力します。
ダウンロード帯域幅(Kbps)	ダウンロードで確保する帯域幅を入力します。
メモ	自由にコメントを入力できます。

6 管理ツール

機器のステータス 画面

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[管理ツール]→[機器のステータス]を選択します。

機器のステータス	
システム	
Uptime	0day:0h:0m:57s
ファームウェア Ver.	v1.01.5
Build Time	Thu Jun 9 21:13:59 CST 2011
LAN側設定	
IPアドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCP	Server
MACアドレス	00:e0:4c:81:96:c1
WAN側設定	
IPアドレス取得方法	Getting IP from DHCP server...
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
MACアドレス	00:e0:4c:81:96:c9

●システム

Uptime	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
ファームウェア Ver.	ファームウェアのバージョンを表示します。
Build Time	ファームウェアの作成日を表示します。

●LAN側設定

IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
DHCP	DHCP機能の状態を表示します。「Server」と表示されている場合、DHCPサーバ機能が有効になっています。
MACアドレス	本製品のLAN側のMACアドレスを表示します。

●WAN側設定

IPアドレス取得方法	WAN側のIPアドレス取得方法を表示します。
IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在のデフォルトゲートウェイを表示します。
MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。

統計画面

各種統計情報を表示します。[更新]をクリックすると統計情報を最新の状態に更新します。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[管理ツール]→[統計]を選択します。

統計		
Ethernet LAN	Sent Packets	364
	Received Packets	426
Ethernet WAN	Sent Packets	40
	Received Packets	0

更新

Ethernet LAN	本製品から見たLAN側における、パケット送信数 (Sent Packets) と受信パケット数 (Received Packets) を表示します。
Ethernet WAN	本製品から見たWAN側における、パケット送信数 (Sent Packets) と受信パケット数 (Received Packets) を表示します。

DDNS 設定 画面

DDNS (ダイナミック DNS) を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、ダイナミック DNS のサービス提供者に登録する必要があります。ダイナミック DNS はサービスリストに表示されるサービスでご利用いただけます。



●あらかじめDDNSサービスに登録しておいてください

DDNS サイトにアクセスしてユーザー登録し、ドメイン名やアカウントなどを取得しておいてください。

●DDNSサービスを利用するにあたって

- DDNS サービスへの登録については、弊社のサポート対象外となります。登録に関しては、一切責任を負いかねます。
- Clear-net (クリアネットサービス) とは、対象の弊社製品をユーザ登録してご利用いただいている方に無償で提供されるダイナミック DNS サービスです。クリアネットサービスへの登録については、弊社ホームページで詳細をご確認のうえ、ご利用ください。
- DDNS サービスによっては、定期的に更新をしないと登録が削除されてしまうことがあります。登録の更新は、本製品がインターネットに接続されているときに自動的におこなわれるほか、手動で更新する場合があります。更新期間などの詳細はご利用になる DDNS サイトをご覧ください。



画面左のメニューリストから [管理ツール] → [DDNS] を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。

●入力・設定画面の内容

DDNSを有効にする	ダイナミック DNS を利用する場合はチェックします。
プロバイダ	リストから登録したサービスを選択します。
ドメイン名	登録したドメイン名を入力します。
アカウント	登録したアカウントを入力します。DDNS サービスによってはアカウントがメールアドレスの場合があります。
パスワード/キー	設定したパスワードまたはキーを入力します。

ログ 画面

本製品のシステムログを記録することができます。



画面左のメニューリストから [管理ツール] → [ログ] を選択します。

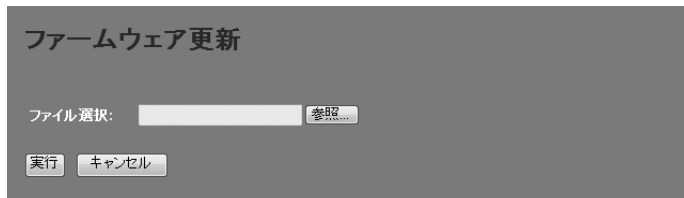
ログ機能を有効にする	この項目をチェックすると、ログの取得を有効にします。(初期値：オフ=ログを取得しない)
適用	上記項目の設定を変更した場合にクリックします。画面のメッセージに従って変更内容を保存してください。
更新	ログの内容を更新します。
キャンセル	記録されているログを消去します。

ファームウェア更新 画面

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアは、弊社Webサイトのサポートページよりダウンロードできます。

画面の
表示

左のメニューリストから[管理ツール]→[ファームウェア更新]を選択します。



ファームウェアの更新手順



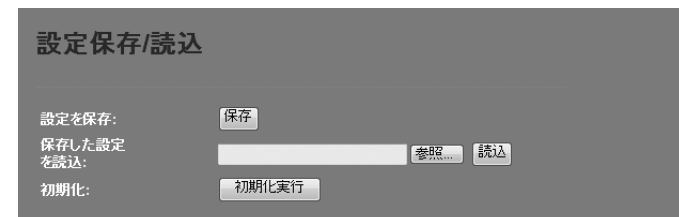
- ① 弊社Webサイトなどからあらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、デスクトップなどに保存しておきます。
 - ・ダウンロード前に注意事項などがないか、ダウンロードページでご確認ください。
- ② **参照** をクリックします。
- ③ <アップロードするファイルの選択>画面が表示されますので、ダウンロードしたファイルを指定します。
- ④ **実行** をクリックします。
- ⑤ アップデートを確認するメッセージが表示されますので、**OK** をクリックします。
- ⑥ アップデート中の注意事項が表示されますので内容を確認のうえ、**OK** をクリックします。
- ⑦ アップデートが完了すると「アップデートが完了しました。」と表示されます。
- ⑧ 本製品背面にあるDCジャックからDCプラグを抜き差しして電源を入れ直します。本製品が再起動し、新しいファームウェアで動作するようになります。

設定保存/読込 画面

本製品の設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルを読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。また、本製品の設定内容を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[管理ツール]→[設定保存/読込]を選択します。



設定の保存方法



- ① **保存** をクリックします
- ② <ファイルのダウンロード>画面が表示されますので、**保存** をクリックします。
- ③ <名前を付けて保存>画面が表示されますので、ファイルの保存場所を指定し、**保存** をクリックします。指定した場所に「config.dat」ファイルが保存されます。
- ④ <ダウンロードの完了>画面が表示されますので、**閉じる** をクリックします。<設定保存/読込>画面に戻ります。

設定の読み込み方法

保存した設定を読み込:

- 1 [保存した設定を読み込]の をクリックします
- 2 <アップロードするファイルの選択>画面が表示されますので、設定ファイルを指定します。
- 3 をクリックします。
- 4 しばらくすると「Update successfly!」と表示され、待ち時間が表示されます。0秒になると、自動的にインターネット接続ウィザードのトップ画面が表示されます。

設定を初期化する(工場出荷時の状態に戻す)

本製品の設定を初期化(工場出荷時の状態に戻す)します。ご購入後に変更した設定はすべて初期値に戻ります。必要に応じて初期化の前に設定をファイルに保存してください。

初期化:

- 1 [初期化]の をクリックします。
- 2 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので をクリックします。
- 3 しばらくすると「装置の設定を読み込みました!」と表示され、待ち時間が表示されます。0秒になると、自動的に<機器のステータス>画面が表示されます。

パスワード設定画面

本製品の設定ユーティリティにログインするための、ユーザー名とパスワードを設定/変更します。

画面の表示

画面左のメニューリストから[管理ツール]→[パスワード設定]を選択します。



注意

●パスワードの変更をお勧めします

設定ユーティリティへのパスワードが初期値のままだと、各種設定情報を自由に閲覧したり、パスワードを変更したりすることができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のユーザー名とパスワードを忘れないでください

変更後のユーザー名とパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

設定の手順

- 1 [ユーザー名]に、新しく設定するユーザー名を入力します。
- 2 [パスワード]に、新しく設定するパスワードを入力します。
- 3 [新パスワード再入力]に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
- 4 をクリックします
- 5 「Change setting successfully!」と表示され、待ち時間が表示されます。0秒になると、自動的に認証画面が表示されます。
- 6 新しく設定したユーザー名とパスワードを入力し、 をクリックします。
 - ・ インターネット接続ウィザードのトップ画面が表示されます。

Appendix



付録編

1 こんなときは

一般的なトラブル

●インターネットに接続できない。

- ① TCP/IP プロトコルが正しく設定されているかを確認してください。
〈ネットワーク〉画面で TCP/IP プロトコルが設定されているかを調べてください。見当たらない場合は、TCP/IP プロトコルを追加してください。
- ② DHCP サーバ機能を使用していない場合は、IP アドレスを手動で割り当ててください。
TCP/IP のプロパティにある〈IP アドレス〉タブで設定します。
- ③ TCP/IP プロトコルの設定が正しいかを確認してください。
プロバイダによって、IP アドレスを自動取得する場合と固定 IP アドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。
- ④ プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。
IP アドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

- ① 正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS 側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

- ① ネットワーク設定をしましたか？
ネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。

2 パソコンの IP アドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンの IP アドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。
ここで説明している IP アドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントの IP アドレスを確認するときにも使用できます。

パソコンの IP アドレスを表示する

Windows 7/Vista の場合

- ① [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。
- ② 〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「"xxx"は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネット アダプタ ローカル エリア接続※」の「IPv4 アドレス」に現在の IP アドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます (xxx は任意の数字)。

```
イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:

接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.2.1
```

※本製品に接続している有線クライアントの種類によって表記は異なります。

Windows XP/2000の場合

- 1 [スタート]→[(すべての) プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。
- 2 <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```

コマンドプロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.
C:\Documents and Settings\main-user>ipconfig
  
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「xxx」は、内部コマンド・・・と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- 3 「イーサネット アダプタ ローカル エリア接続※」の「IP Address」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。

```

Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix  . :
    IP Address . . . . . : 192.168.1.145
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.254
  
```

※本製品に接続している有線クライアントの種類によって表記は異なります。

3 製品仕様/おもな初期値

WAN/有線LAN部

規格	IEEE802.3ab (1000BASE-T)、IEEE802.3u (100BASE-TX)、IEEE802.3 (10BASE-T)、
コネクタ	LAN：RJ-45×7ポート、WAN：RJ-45×1ポート
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

ルータ部

ルーティング対応プロトコル	TCP/IP
インターネット (WAN) 接続方式	PPPoE 認証接続、IP アドレス自動取得接続、IP アドレス固定接続
LAN 接続方式設定	DHCP サーバ(有効/無効)、固定 IP アドレス(手動設定)
セキュリティ	MAC アドレスフィルタリング(許可/拒否)、IP アドレスフィルタリング(許可/拒否)
ローカルサーバ機能	ポートフォワーディング、仮想 DMZ
ダイナミック DNS (DDNS)	クリアネット(ロジテック提供サービス)、DynDNS 等

一般仕様

消費電力(定格)	10W
外形寸法	幅205×奥行110×高さ53mm
質量	約285g

●設定ユーティリティの工場出荷時の設定値

ログイン時のユーザー名とパスワード	ユーザー名：admin パスワード：admin
-------------------	----------------------------

●有線LAN関係の工場出荷時の設定値(初期値)

LAN 側 IP アドレス	192.168.2.1 (255.255.255.0)
DHCP サーバ機能	DHCP サーバ機能：有効 割り当て IP アドレス：192.168.2.100~192.168.2.200 デフォルトゲートウェイ：有線ルータの LAN 側 IP アドレス DNS サーバの通知：有線ルータの LAN 側 IP アドレス



ギガビット対応 8ポート有線LANルータ LAN-BR/G8
ユーザーズマニュアル

発行  ロジテック株式会社 2011年9月1日 第1版

©2011 LOGITEC CORPORATION. All rights reserved.